

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

内山 哲治

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

【ネットワーク流通論】

「ネットワーク流通論」の総サンプル数（有効回答枚数）が 3 名と少ないため、一部の受講生に偏ったアンケート結果になった。受講生への授業評価参加を促すべきであった。指摘については、能力が許す限り改善していく。PBL 形式の授業を予定していたが、Teams に対する能力不足で対面式のようにできなかったのは心残りである。

【消費者行動論】

「消費者行動論」の総サンプル数（有効回答枚数）が 5 名と少ないため、一部の受講生に偏ったアンケート結果になった。受講生への授業評価参加を促すべきであった。指摘については、能力が許す限り改善していく。PBL 形式の授業を予定していたが、Teams に対する能力不足で対面式のようにできなかったのは心残りである。

2. 「自由記述欄」の内容

【ネットワーク流通論】

指摘については、授業のどの部分についてコメントしているかが判明しないが、遠隔授業による説明不足・能力不足については反省している。

【消費者行動論】

指摘は、遠隔授業に対する説明不足・能力不足に対するものである。これについては反省をしている。但し、具体的な指摘がなく、感情的に記述している批判もあり、自分が一所懸命に伝えたいことを説明していることがこのように捉えられていたことはとても寂しかった。出席については、可能な限り厳格・公正にした。毎回、Forms を使用して「氏名」「学籍番号」「(ランダムに与えられる当日特有の) 授業番号」を書いてもらい、それだけでは確実ではないため、授業中に質問を多くしたり、(時間にズレが生じたこともあったが) チャット・メールでのやり取りで再評価もした。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

伊藤 利明

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

倫理学の総計は 4.3、道徳教育の理論と実践は 4.4 であり、平均値と比較しても、おおむねよい評価であると判断できる。

倫理学については、パワーポイント資料を使用したこと、難しい言葉はできるだけ説明を加えたこと、教員の熱意が学生に伝わったこと、が高得点であった。他方、学生の主体性については、高い得点ではなかった。これはオンライン授業だったので、授業に能動的に参加するという意識が弱かったのかもしれない。

道徳教育の理論と実践については、遠隔授業の方法の適切性、90分授業が確保されたこと、授業が将来役に立つこと、が高得点であった。他方、遠隔授業形式の満足度、授業の内容の理解については、高い得点ではなかった。授業では、道徳の学習指導案や板書計画を作成し、発表することを課題として設定したが、2年後期の授業なので、まだ学習指導案の作成に慣れていなかったのかもしれない。

2. 「自由記述欄」の内容

倫理学については、3つの指摘があった。

第1に、「対面の時、レジユメを紙で用意した方がいい。」という指摘があった。教室が縦に長いので、一つのスクリーンだけでは後ろの学生が見えにくいと判断し、スマホでチームズのファイルにある資料を見るように指導した。対面授業の時、印刷したレジユメを配布すべきかどうかについても、今後の検討課題としたい。

第2に、「現代社会の倫理的なことをよく考えることができた授業です。特に最後の方の生命倫理は特に心にじんときれまじ、少し考えさせられる内容ばかりでした。この授業は今後社会で生きていくうえでとても役に立つことを身に着けることができました。」という指摘があった。生命倫理については、「このとりのゆりかご(赤ちゃんポスト)」と「出生前診断」を取り上げたが、現代的な問題を自分なりに考えることができるという授業目標を達成できたと思われる。

第3に、「今のままで十分満足しているが個人的には組織としての利益に関する倫理やディベート等があると良いかもしれないと考えた。」という指摘があった。この中の「組織としての利益に関する倫理」に関する問題として何が適切かを考えたい。ディベートについては、授業の中でルールなどを説明することや試合を実施することを今後の検討課題とする。

道德教育の理論と実践については、自由記述がなかった。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

今永典秀

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

2科目で評価アンケートに協力いただき、感謝します。

科目間での評価の差が生じていたことが大きな点でした。

特に1科目は200人を超える講義で、1年生が中心でした。

平均並の評価はいただきましたが、一方的な講義が中心になってしまったことから、テキストや資料などを工夫して改善したいと思います。

一方で3年生が中心の選択必修科目は、外部講師による講義や、私自身の実務経験を生かした実践的な職業教育ができたと感じる結果が得られました。

2. 「自由記述欄」の内容

特に、大人数の200人以上の場合において、出欠の方法で指摘いただいたこともありました。頑張ってきちんと授業を受けてる人に不利益が得られないような工夫を取り入れたいと思います。出欠フォームには講義の感想を記載いただき、全員分目を通して、必要に応じて講義で紹介・説明しておりましたが、今後も工夫を重ねたいと思います。

前回までと比べてやや数が減少している点は個人としても反省し、よりわかりやすく、意見が出しやすいような雰囲気での講義を展開したいと思います。

引き続き頑張っていきたいと思います。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

吉永茂樹

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

「商業科教育法Ⅱ」については、受講生2名のため十分な学生同士の意見交換が出来ず残念でした。特に秋学期は、学生による模擬授業が中心になるので、遠隔授業ではなく対面型授業の実施は、効果のある授業展開に期待でき結果が得られたと思います。反省点としては、各項目の学習指導案の作成に十分な時間が割くことが出来なかったことです。次に「生徒・進路指導の理論と方法」については、受講生11名で全員がしっかりした目標を持って受講しているので、学生同士の意見交換が活発に出来、活気のある授業展開に期待通りの効果があったと思います。遠隔授業ではなくほとんどを対面型授業を実施したことで、期待通りの結果が得られたと思います。授業参加型の調べ・発表・質疑応答など、教職に就く事にかかわらず、これからの社会人基礎力の充実に、少なからずプラスになったと思います。

2. 「自由記述欄」の内容

「生徒・進路指導の理論と方法」について、「問題の対処や考えられる反応を考えながら講義を進めた」とあり、学生の授業参加型が効果を発揮出来たと思います。遠隔授業ではなく、対面型授業の必要性を特に感じました。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

竹澤 伸一

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

今回、4つの科目について評価（各項目5点満点）をいただいたわけだが、入力後しばらく経って、複数の科目で複数の学生から、ある告白が寄せられた。ここに書くことすらおぞましい告白である。現状でも点数的に高い評価はいただいているが、学生の実際の気持ちは、もっと高い評価だと思われる。その「おぞましい告白」の裏取りをするつもりはないが、授業評価にすら深い闇を感じさせられた。ただ私のアクティブラーニングには、ただの1点の曇りもない。

2. 「自由記述欄」の内容

4つの科目に対して「214番から267番」に渡る54個（名）のコメントが寄せられた。教職科目が中心の受講者総数58名中の54名のコメントなので、実に93%の学生がコメントしてくれたことになる。ありがたいことである。毎回の授業でミニレポートを書いてもらい、すべて次回でコメントをつけてフィードバックしている成果が出たものと思われる。ちなみに春学期は96名中94名のコメントをいただいている。こうしたコメント率に対して、「竹澤はコメントすることを強制している」と陰でささやいている幹部を含めた教員？を何人か知っている。ずっとそうしていればよい。その段階で、その人物の成長はない。気の毒である。コメントの中身は一目瞭然。アクティブラーニングの本質がわかってきた学生が増えてきてうれしい。さらにアクティブラーニングの技法等を修め、残り1年、学生と共創し、来たるべき次の現場に備える所存である。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

平井一正

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

全体的には学生によく書かせるのでそれが大変だと思うので、もう少し具体的にまとめて書くように説明していきたい。

2. 「自由記述欄」の内容

学生に興味を持って受講してくれていると考える。特に日本スポーツ協会公認資格にかかわる授業のためしなければならないところが決められているため、覚えてもらう授業が多いとので大変である。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

長谷川泰洋

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

生態学概論は、講義において計算課題を出しており、
難しく感じた学生が多い様になっている。また、応用範囲の広い課題を出しているが、
それが伝わっていない可能性があるため、十分な説明と質問時間を確保したい。
生物学は、高校生物を学んでいない学生が多い本学学生にとっては、
専門的な用語が多いため、その説明に多くの時間を使うが、
より主体的に参加可能な内容にアレンジしていきたい。

2. 「自由記述欄」の内容

自由記述でも良い評価がもらえる様に、工夫していきたい。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

伊藤雅一

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

「聞き取りやすいように話をしたか」、「質問や意見を述べられるように配慮したか」、「熱意をもって取り組んでいたか」などは高評価であった。オンライン授業、対面授業を通じて、丁寧な説明を心掛けたことが評価に繋がったと思われる。その一方で、「興味・関心が持てるものであったか」、「理解できるものであったか」については、学生間で評価にバラツキが生じていた。オンライン授業中は、授業ごとに自主学習の課題に取り組むよう求めたが、自主的に課題に取り組めなかった学生が少数だが存在し、このことが評価に影響を与えたと思われる。オンライン授業時の予復習の内容を改善したい。

2. 「自由記述欄」の内容

自由記述では「分かりやすい」とのコメントが寄せられた。授業に対するコメントは、授業評価アンケート以外でも定期的に徴取し、その中で理解度が乏しいと思われた点については、逐次、補足説明を行うなどの対応を行っている。上記 2 の自己点検・評価でも触れたように、授業評価アンケート中、「理解できるものであったか」については学生間で評価にバラツキが生じていたが、多くの学生にとっては分かりやすい授業であったと受け止めている。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

矢野昌彦

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

概ね評価としては、4点以上が多く、問題ないレベルであると認識しました。NO7の質問しやすい環境づくりとNO8の興味・関心のある内容であったかが、やや低くなっていたことに関して、今後さらに創意工夫をしていきたい。特に質問しやすさとはアクティブラーニング的な双方向のコミュニケーションを重視していきたい。興味・関心については、具体的な例としてYouTubeを活用してきたが、単に視聴するのではなく、わからないことを何でも気軽に質問できるような工夫していきたい。

2. 「自由記述欄」の内容

楽しかった。わかりやすかった。ありがとうなど前向きなコメントと、特にありませんなどとりあえずコメントした内容となっている。サイレントな不満もありそうなので、誰一人取り残さない。コメントいっぱいになるような創意工夫をしていきたい

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

巢 宇燕

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

科目「プログラミング基礎」の 2 クラスのアンケート結果は全ての項目につき、全体の平均点を超えています。最高点は 4.8 もあり、対面授業の成果がでているのではと思います。科目「人工知能概論」につき、評価点は 3.3 と 4 の間のため、オンライン遠隔授業と対面授業を混じった授業方式はこの科目には向いてないのではないかと感じます。特にオンライン授業の時に、こっちから質問しても返答してくれないことが多くて、集中して取り込めないことが推測でき、授業の内容に十分に理解できていないのではないかと考えられ、ついていけないことも少なくないと思います。

2. 「自由記述欄」の内容

科目「プログラミング基礎」に関して、以下のようなコメントがある。①教科書の内容と練習問題で分かりやすく難しい問題もすぐに理解でき、分からないところは時間をとって教えてくれたので集中して授業ができました。②基礎ですが、英語ができない人には本当に難しいです。でも、今後の仕事に役に立つと思います。先生も丁寧に教えてくれます。③対面授業ですりやすいです。④使った本が役に立ちました。このようなプラスのコメントを貰ったことにつき、遣り甲斐を感じさせられ、これからもより良い授業を行うための工夫を考案したいです。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

河村陽介

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

水曜と木曜は同じ授業内容であるが、受講生の理解力に大きく差が見られたため、水曜の授業は少し内容が遅れがちであった。例年に比べても今年の水曜の受講生の理解度が乏しかったため、よりわかりやすい解説が必要だと感じた。

2. 「自由記述欄」の内容

自由記述なし

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

三宅章介

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

経営分析論jは総合点が3.6であった。計算ばかりなので、この点を考えた講義が必要か考える。組織心理学は4.1であった。これは自己分析用の検査をしたので、このことがよかったのかもしれない。こういう気付きの検査は、どの科目も大事か考える。経営組織は3.5であった。これは「自由記入欄」のコメントにも書いておいたが、組織心理学の内容と重なっている箇所があり、このことをどのように説明したらよいか検討したい。なおこの両科目は担当者の代講であり、今年度限りであるが、将来こういうことも考えられるので似通った科目については十分配慮をする必要があるものと思える。

2. 「自由記述欄」の内容

経営組織と組織心理学について、同じようなものだという意見と良かったという両論があった。この点については、組織心理学は経営組織をベースにした人間の心理であるので、いずれにしても経営組織をしっかり学んでおくことが求められる。秋学期はこの授業が並行していたので、両方を受けた学生は同じことを聞かされたと考えたものと思える。しかし、この科目は並行しているので、両方を履修した学生のことも念頭に置き、授業内容を考えることが大事だと思えた。(授業中にはこのことは重々話してきたつもりであるが)

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

丸岡稔典

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

今回の授業評価アンケートでは、昨年度、一昨年度と比較して高評価の結果をえられた。講義に関心を持つ学生が増えたことや、講義の際にできるだけ抽象的な内容を少なくし、具体的な事例や身近な話題を取り上げたことがその要因として考えられる。大人数の講義となったビジネス能力検定Ⅱやその他の講義の遠隔授業についても概ね満足が得られる結果が得られた点もよかった。

2. 「自由記述欄」の内容

わかりやすかった、社会的能力を学べた等のコメントがあり、学生の期待に一定程度沿うことができたと思われるので、現在の方向でさらにわかりやすい、役に立つ講義を心がけたい。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

伊藤 利明

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

倫理学の総計は 4.3、道徳教育の理論と実践は 4.4 であり、平均値と比較しても、おおむねよい評価であると判断できる。

倫理学については、パワーポイント資料を使用したこと、難しい言葉はできるだけ説明を加えたこと、教員の熱意が学生に伝わったこと、が高得点であった。他方、学生の主体性については、高い得点ではなかった。これはオンライン授業だったので、授業に能動的に参加するという意識が弱かったのかもしれない。

道徳教育の理論と実践については、遠隔授業の方法の適切性、90分授業が確保されたこと、授業が将来役に立つこと、が高得点であった。他方、遠隔授業形式の満足度、授業の内容の理解については、高い得点ではなかった。授業では、道徳の学習指導案や板書計画を作成し、発表することを課題として設定したが、2年後期の授業なので、まだ学習指導案の作成に慣れていなかったのかもしれない。

2. 「自由記述欄」の内容

倫理学については、3つの指摘があった。

第1に、「対面の時、レジュメを紙で用意した方がいい。」という指摘があった。教室が縦に長いので、一つのスクリーンだけでは後ろの学生が見えにくいと判断し、スマホでチームズのファイルにある資料を見るように指導した。対面授業の時、印刷したレジュメを配布すべきかどうかについても、今後の検討課題としたい。

第2に、「現代社会の倫理的なことをよく考えることができた授業です。特に最後の方の生命倫理は特に心にじんときれまじ、少し考えさせられる内容ばかりでした。この授業は今後社会で生きていくうえでとても役に立つことを身に着けることができました。」という指摘があった。生命倫理については、「このとりのゆりかご(赤ちゃんポスト)」と「出生前診断」を取り上げたが、現代的な問題を自分なりに考えることができるという授業目標を達成できたと思われる。

第3に、「今のままでも十分満足しているが個人的には組織としての利益に関する倫理やディベート等があると良いかもしれないと考えた。」という指摘があった。この中の「組織としての利益に関する倫理」に関する問題として何が適切かを考えたい。ディベートについては、授業の中でルールなどを説明することや試合を実施することを今後の検討課題とする。

道德教育の理論と実践については、自由記述がなかった。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

菅井 径世

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

授業評価アンケートに関しては、学生の評価にも思いにもばらつきがある。実際に対面で抗議した際も、同様であった。概ね熱心に勉強し、演習や課題に取り組む履修生の対面での受講態度は、例年よりも良い場合があり、成績にも表れている。演習や課題を実施していなかったり、まばらにしか提出していなかったりする履修生の対面での受講態度は、例年よりも悪い場合があった。オンライン授業については、教える側としても慣れないことが多かったが、履修生にも慣れないものがあった。SNSなどで無責任な発言をすることになれている履修生があった可能性も高いが、アナウンスに不注意であった可能性もある。一方で熱心に、几帳面に受講していた履修生からは、対面授業の際、また、試験後に直性会話をした際にも、講義内容をよく理解していることがうかがえる声が多く聞こえていた。

2. 「自由記述欄」の内容

上記のようにばらつきがあり、連絡の有り無連絡の有り無しなどについても、講義方法についても、学生によって対応を変えていることはないが、上記のようにばらつきがある。また、既述にはないが、直接の学生との会話から、履修生にも、まだ、オンライン形式に慣れないものや、特に、新入生には、4月からオンライン形式が長期間にわたって断続的に継続したことから、大学での勉学に慣れていない学生も例年よりも多いのではないかと推測できる。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

高木清秀

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

シラバスの到達目標には達成していない学生が多い。解かりやすい言葉で、ゆっくり話すことが必要。

特に学生からの質問、意見を述べられる工夫、配慮が必要であった。

社会で役立つ内容、遠隔授業の方法は平均以上であった。

他の項目は、平均かそれ以下であった。他の先生方の優秀さが解かった。

2. 「自由記述欄」の内容

社会で役立つ大切な情報が含まれていたので受講者が増えると意見をいただいた。

遠隔の画面がきれい、わかりやすい。

プリントを配らないので、ノートを取っているのに、話が入ってこない。プリントを配ってほしいとの意見、

次回からはプリント配布を考える。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

高木弘恵

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

コロナ禍の中での対応で遠隔授業で伝えきれない部分もあった。2021年度からより興味を持ってもらえるように改善したいと思う。

2. 「自由記述欄」の内容

講義に関係ないコメントもあった。約 280 名の講義なので行き届かない部分もあったが、今後改善できるように協力体制もしっかり構成し学生たちの満足度をあげていきたい

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

松下奈美子

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

基礎的な知識の獲得、定着を目的としており、概ね目的は達成されていると考える。

2. 「自由記述欄」の内容

大きな問題はないため現行の方法で授業を続ける

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

吉岡康典

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

授業準備もしっかりでき、いい評価を頂いたと思います。これを、4月からもしっかり継続しさらに向上させて授業を進めていきたいと思います。

2. 「自由記述欄」の内容

今年は、慣れないオンライン授業、途中から対面授業などで、みなさん大変だったと思います。学生からも直接嬉しい言葉をかけてもらえたり、アンケートからも数名の学生から嬉しい言葉を頂き、今後もこの状況を継続しさらにいい授業となるように努力や変化を試みたいと思います。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

富田 裕平

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

自分の感覚と大きな差異はない印象を受けました。
次回は少しでも評価を高めることができるようにいたします。

2. 「自由記述欄」の内容

内容に関する記載がほとんどなかったため、よいコメントを書いてもらえるように取り組みます。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

福田 ムフタル

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

今回の学生による授業評価アンケートの結果は、平均的に見ると、前回に比べてかなり悪化しています。その理由は二つあったと思います。

一つは、遠隔授業によるところが大きいと考えられます。学生の授業への理解度を考えながら進めたつもりでしたが、正しく把握できませんでした。ほぼ毎回の授業で課題を出していましたが、そのフィードバックが遅れたことによって学生の理解度に関する理解も遅れ、特に授業が先に進んでしまった点が反省すべきです。もう一つは、課題・宿題を多く出し過ぎたことにより、学生が追いついていけないという状況が発生しました。従来の対面授業では、できるだけ学生に分かりやすく、何度も丁寧に説明することができますが、今回はそれがあまりできませんでした。

特に評価が厳しかった科目(例えば「アルゴリズム論」や「情報処理基本演習」)に関しては、資格に関わる科目でもあり、学生には最低限のスキルを確実に身につけてもらうために、多目の課題や練習問題を出しており、欠席した学生にも同様の課題を課していますので、「厳しすぎる」といった不満が多数ありました。その科目の後編から履修者が極端に少なくなることからその状況がうかがえます。次年度は一度だけ授業内容の丁寧な説明に徹し、課題を殆んど出さない形で講義を進めてみて、どのような結果になるかを調べてみたいと思います。

とにかく、どのような形式の授業であろうとも学生中心の授業でなければいけないし、学生には少しでも多くの能力を身につけてもらえるように努力することの重要性を今回のアンケート調査結果で更に認識することができました。

2. 「自由記述欄」の内容

自由記述欄には3科目それぞれに数人しか答えていませんでした。これは、学生の評価アンケートへの関心の低さを示すのか、それとも教員(私)の努力不足なのかが定かではありませんが、教員が努力すればよい方向に向かうことには間違いありません。大変厳しい意見と、励ましや無関心の意見もありました。次年度からはこれまでの経験を生かしながら改善に努力したいと思います。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

岡村聖

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

全科目と比べて、担当科目で評価が最も高かった項目は、「わかりやすい言葉を使ったりゆっくり話したりするなど、先生は聞き取りやすいようにはなしをしましたか」の項目でプラス 0.5 ポイントであった。継続していきたい。一方、最も低かった項目は「あなたは授業の内容を理解するため主体的に（自分自身で）学習しましたか」の項目でマイナス 0.6 ポイントであった。主体的な学習を促すための復習課題を課す等の工夫をしていきたい。

2. 「自由記述欄」の内容

自由記述に関しては、おもしろい、楽しい、話が聞き取りやすい、わかりやすい等、好意的な評価が多かったが、自由記述をしていない層に改善をようする項目が隠されている可能性がある。意識していきたい。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

星野 雪子

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

アンケート結果が概ね 4 ポイント以上ということから、一定の学習効果を読み取ることができました。

対面授業の PC 教室科目もオンライン・リアルタイムの授業も、課題に着実に取り組む学習態度の受講生は、学習目標を概ね達成できたことが、アンケートからも読み取ることができました。

授業内容を確実に理解するために、説明を繰返して理解を促進する、一斉講義に加えて個別指導のための質問タイムを確保する、全課題の提出を義務付けることによる学習効果も狙い通りの成果をあげています。

2. 「自由記述欄」の内容

学生の努力が伝わってくるコメントが多かったです。「分かりやすく頑張れます。」「わからないところだらけだが先生のおかげでなんとかついていけた。」「学んで良かったと思います。その中で難しい問題はありましたけど、メモを取りました。」毎講義において、課題を提出させて継続的な努力を引き出すことができていると考えています。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

瀬川久志

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

理論的、抽象度の高い授業であるため、理解度や実務性の面で、満足度が低いように思われる。授業の性格からやむをえない面もあるが、具体的な局面に即して授業展開する改善余地がある。学生側が、スマホのみでPCが操作されない場合、遠隔がうまくいかないと感じた。

2. 「自由記述欄」の内容

遠隔が継続される場合は、teams内のメール、チャットを増やしたい。動画のアップはサーバーへの負担が大きくスムーズにいかないことがあった。

「学生による授業評価アンケート」に対する「自己点検・評価」調査票

宮坂まみ

1. 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

総計は「教育相談」4.8, 「心理学基礎実験」4.7, 「臨床心理学」4.5, 「行動心理学」4.4で

あり, 4科目とも, 自主学習の項目(問3)を除く全ての項目が平均より高かった。秋学期科目は専門性の高い科目であるため15回の授業での習得に難しさがあるのではないかと懸念していたが, 学生なりに達成感を感じてもらえたようである。

「行動心理学」は特に専門的な度合いが高く, 授業期間の中盤で理解しきれていない様子を感じた。そこで, 後半ではより丁寧に学生の理解の進捗度合いに合わせたエクササイズを取り入れるようにした。その効果があつてか, 問4 シラバス記載の到達目標を達成したと思うかという問いの平均は4.2であり, 大半が4~5を選んでいった。ただし, アンケート回答者の1/5は2と3を選んでおり, 今後は理解できていない学生を取りこぼさないよう, より目配りをしていく。

2. 「自由記述欄」の内容

自由記述は, 「特になし」を除くと3件のみであった。面白かった, 分かりやすかったというコメントであったが, 特に「分からないことへのフィードバックがあつたため困ることなく講義が進んだ」というコメントは授業評価を受ける立場として, 非常に有意義な回答である。学生自身, 「学生が分からずにいることへの気づき」と「困り感に対するフィードバック」の重要性を感じていると言える。今後も学生の様子をよく見て適宜必要なサポートを入れていく。